

山々に目をやると、鮮やかな緑色が浮かび上がってきます。若葉の淡い緑や力強い濃い緑が、私には3D画面を見ているように間近に感じられます。また、田んぼに目をやると、弱々しく感じられた稲の苗が、いつの間にか、しゃんと立っています。

さて、1学期も早いもので、半分か過ぎようとしています。6月2日に予定しています体育大会に向けて、生徒会や3年生を中心に寸分の時間も惜しみながら準備をしています。また、本年度、「明るい挨拶があふれる学校づくり」をスローガンに、生活委員会を中心に挨拶運動を行っています。毎朝玄関には、生活委員会の生徒と5、6名の職員が登校する生徒を迎え、笑顔で挨拶をしています。笑顔とすがすがしい挨拶が響き渡る校舎は、本当に気持ちがいいです。

平成30年度 学校経営方針

裏面に、「平成30年度 高浜中学校 スクールプラン」を載せています。これは、校長の学校経営方針を示したもので、全職員がこの内容を日々意識しながら、教育目標や「めざす生徒像」を達成するものです。年度途中で数回、生徒や保護者の皆様にアンケートをお願いし、これらの進捗状況を評価し改善を加えながら目標が達成できるよう努力をしていきます。そこで保護者の皆様にお願いがあります。ご家庭におかれましても、この中の一つでも結構です。

学校や生徒の後押しをお願いしたいのです。学校は精一杯努力をしますが、効果を上げるためには是非ともご家庭のご協力とご支援が必要です。さらには、地域の各種団体の皆様にもこのスクールプランをお示しし、ご理解とご協力をお願いする予定です。

さて、このスクールプランについてももう少し詳しく私の考えをお伝えしなくてはならないと思います。今後、数回にわたって学校だよりでお示ししますので、よろしくお願ひします。

地域に貢献できる生徒

従来より本校で取り組んでいる「ハローボランティア」を少しバージョンアップしたいと思います。ボランティアとは本来、「無償で社会事業等に携わる」という定義が一般的ですが、さらに「社会における諸問題に気づき、自分は何ができるかを考え、行動する」というレベルまで高めていきたいと考えています。このように書くと大変なことのように思えるかもしれませんが、例えば、独居老人宅に弁当を届ける等の活動です。もちろんこのような活動を支援している団体の協力を得ます。これらの活動を行うメリットは、自己肯定感の高揚、将来の夢への原体験、中学校生活の充実感の体感などを想定しています。混迷する今後の社会を生き抜く礎になると信じていますので、皆様のご支援をよろしくお願ひします。

教育目標

未来に希望を持ち、人間性豊かな生徒の育成

- 家庭・地域の願い
- ・学力の向上
 - ・将来に対して夢を抱く生徒
 - ・思いやりのある生徒

- 生徒の課題
- ・コミュニケーション能力の不足
 - ・社会体験の不足
 - ・自己肯定感の不足

- めざす生徒像
- ・地域に貢献できる生徒
 - ・地道な努力をおしまない生徒
 - ・自他の良さや欠点を受け入れる生徒

- めざす教師像
- ・生徒の良さを引き出す教師
 - ・生徒のよわさに寄り添う教師
 - ・自らの専門性誇れる教師

<p>確かな学力</p> <p>○学習意欲の向上を目指した授業 ○家庭学習の定着</p>	<p>豊かな心・健やかな身体</p> <p>○考える道德教育の推進 ○一人を大切に作る仲間作りの研究 ○基礎体力の向上</p>	<p>家庭・地域に開かれた学校</p> <p>○地域に貢献できるボランティア活動の推進 ○情報モラル教育の推進と啓発</p>
<p>◎学習課題や教材の工夫など、学習意欲を高める授業づくりを行う。</p> <p>○生徒同士がつながりを持って学び合える授業を推進する。</p> <p>◎家庭学習を活かした授業づくりを推進し、家庭学習の定着を図る。</p> <p>○朝読書の実施や学校図書館、学級文庫の整備を進め、読書活動を充実させる。</p>	<p>○道德の授業時間を確保し、学年で協働研究し、生徒に考えさせる道德を計画的に実践する。</p> <p>◎一人を大切に作る仲間づくりと差別を許さない集団づくりを推進するために、担任や教科担任、養護教諭や教育相談担当、SCが連携し、一人一人の生徒の状況について理解を深めるとともに見取りや指導方法について交流し、研鑽を積む。</p> <p>○教科体育や部活動において生徒の基礎体力向上のために継続的に持久走に取り組む。</p>	<p>◎総合的な学習の時間と関連づけることで、生徒の地域行事・ボランティア活動への積極的な参加を促す。</p> <p>○学校と地域、生徒と地域のつながりを深めるために、地域の人材を活用した活動を計画的に実施する。</p> <p>◎講演会の休日開催など、保護者の積極的参加を図りながら、PTA活動を通して情報モラルに関する啓発を行う。</p>
<p>○各教科・領域において学習に対する意欲が高まった生徒の割合が90%以上。</p> <p>○家庭学習に積極的に取り組むことができた生徒の割合が85%以上。</p>	<p>○年間35回以上ねらいの明確な考える道德の授業が実施できた道德担当教員の割合が90%以上。</p> <p>○学級の居心地がよく、安心して過ごすことができたと感じる生徒の割合が100%以上。</p> <p>○他の教員と連携を図り、意見交換をしながら見通しを持って学級づくりに取り組んだ教員の割合が90%以上。</p>	<p>○地域の行事・ボランティア活動に興味を持ち、いずれかに参加することができた生徒の割合が90%以上。</p> <p>○ボランティア活動への参加生徒の全生徒に対する割合を昨年度に比べ10%以上増加させる。</p> <p>○講演会やお便り等を通して情報モラルに関する理解が深まったと答えた保護者の割合が90%以上。</p>

＜業務改善のための取組＞
職員会議、研修会等の時間短縮と検討項目の精選
校内LANの活用による情報伝達の効率化